



# 長与町立高田中 「学校だより」

発行  
松本正彦

9月号

## 残暑お見舞い申し上げます

暦の上では、秋が来ましたが、まだまだ残暑が厳しいようです。  
今年の夏は、前半はとても日差しが厳しい日が続きましたが、後半は激しく長い雨が印象的でした。  
その中で、生徒たちの活躍もたくさん見られました。下に紹介する 中総体県・九州大会、おれあいペーロンや 龍踊り・コッパ・コデショの練習、各部活動などよく取り組んでいました。  
二期期がスタートしました。学習・スポーツ・文化・行事を通して、ひとりひとりの生徒のよりよい成長を図っていききたいと思ひます。  
実りの秋という言葉があります。秋に実る作物や果物はたくさんありますが、日本の主食であるお米について考えます。  
JA全農山形によると、地域によって多少時期は異なりますが、七月上旬～中旬に茎の中に穂ができる、だんだん大きくなり、八月上旬ころに茎の中から出ます。  
稲の一生の中で、穂の出る二週間前頃が最も大切な時期だそうです。この時期に、低い気温や乾いた強い風が吹いたり、また干ばつにあたりすると、実らない稲が出て収量や品質が落ちてしまうとのこと。稲にとつては、夏らしい夏が適しているということだと思ひます。  
人間の成長にもあてはまることがあるかもしれせん。勉強すべきときに勉強する、鍛えるべきときに鍛えることで、その後の実りが豊かになることがあると思ひます。  
中学生は、前思春期にあたり、心身が急速に成長する時期です。稲の成長にあてはめると、穂の出る二週間前にあたるのかもしれない。  
生徒ひとりひとりの人生が実りあるものとなることを願ひ、大切に 教え鍛えて「いききたい」思ひます。  
二期期もよろしく願ひします。



## 学校祭 へ向けて

今学期は、本校の大きな行事の一つである学校祭を実施します。  
学校祭は、高田中学校の伝統となっている行事です。もともとは一般にいうところの体育大会と文化祭を連日（土・日）開催して「学校祭」と呼んでいました。  
本校では体育大会を学校祭体育部門、文化祭を学校祭文化部門と呼んでいます。最初に生徒会役員と実行委員会を中心としたオープニングセレモニーで開幕し、最後のエンディングセレモニーで幕を閉じるという二連の流れを行い、両方あわせて「学校祭」という一つの大きな行事となります。今年度は九月十八日（日）に学校祭体育部門、約三週間後の十月十四日（金）に学校祭文化部門を予定しています。  
学校祭実行委員会では今年度のテーマを「夢 限大 奇跡の出会ひを最強の絆に」と決定しました。  
このテーマには、次のような思ひを込めました。  
限りなく広がる夢（可能性）を現実のものとしよう！という思ひが込められている。その夢を叶えるという過程の中で奇跡的に出会った仲間と、とても深いつながり、最強の絆をこの学校祭を通して創り上げていきたい。



合い言葉 ○元気よくあいさつしよう ○勉強をしよう ○きれいな学校にしよう  
「頑 張 れ 高 田 ！ 負 け る な 高 田 ！」